

LP ガス販売事業者  
LP ガス設備施工業者  
の皆様へ

LP ガス用検査孔付ねじガス栓 [MSC-PL 型]

取扱説明書

この取扱説明書は、主としてLP ガス販売事業者・LP ガス配管設備士の方を対象に、製品説明、安全のために、設置工事、維持管理、お客様への説明、連絡先の順に作成してあります。

お客様に安全にLP ガスをご使用していただくために、液化石油ガス法及び関係基準を遵守するほか、この取扱説明書をよくお読みになり、LP ガス設備の安全を図ってください。

説明文の前やイラストに付したマークの指示と内容は次のようになっております。

内容を良く理解してから本文をお読みください。



……この記号は「禁止」の行為であることを告げるものです。



……この記号は「注意」を表し、この表示を無視して誤った使い方をすると、人が障害を迫る可能性が想定される内容、及びガス漏れによる火災発生などの物的損害の発生が想定される内容を示します。



……この記号は「必ず実施」していただく内容を告げるものです。行為を強制したり指示する内容を示します。

1 製品説明



検査孔付ねじガス栓(以下ガス栓という)は、財団法人日本LP ガス機器検査協会の適合性検査合格品です。右の合格マークを確認してください。

2012.3.31以前



■ ガス栓は、従来の中間コック及びメーターコックの機能に、完成検査、保安点検に便利な検査孔がついています。従来のコックと操作方法が一部異なりますので、よくご理解の上ご使用ください。

2012.4.1以降

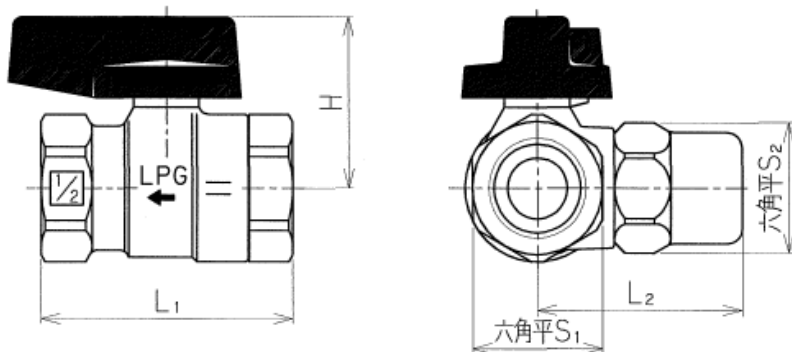


■ 型式・仕様

型式	接続ねじサイズ	気密試験圧力	使用温度範囲	定格流量 空気(LPG)
MSC-15PL	Rc1/2	22.5KPa	-10~70°C	6000L/h(約9kg/h)以上
MSC-20PL	Rc3/4	(0.23kgf/cm <sup>2</sup> )		10000L/h(約15kg/h)以上

定格流量は、圧損水柱10mmのときの空気量を示す(LPG換算参考値)

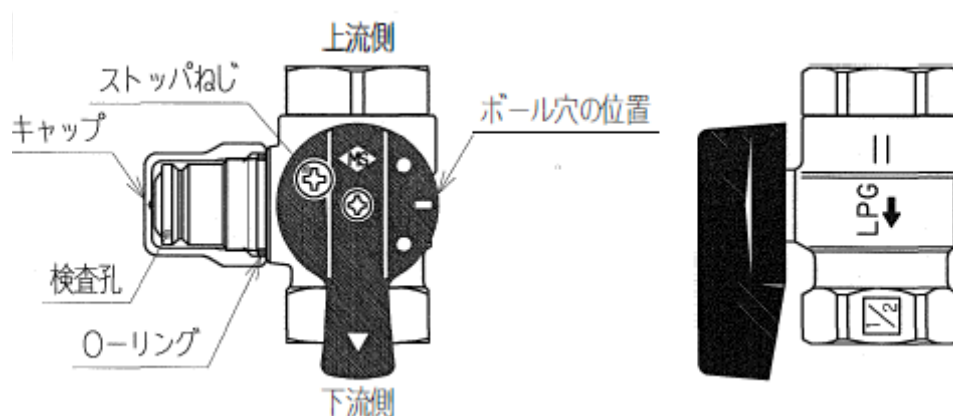
■ 外観寸法



型式	L <sub>1</sub>	L <sub>2</sub>	H	S <sub>1</sub>	S <sub>2</sub>
MSC-15PL	54	42	36	28	22
MSC-20PL	65	45	39.5	34	

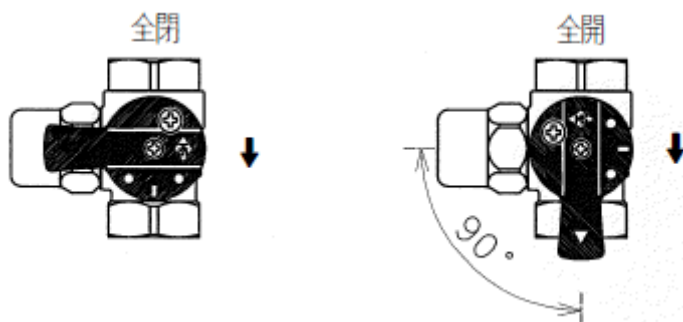
■ 検査孔の取扱い方法

構造



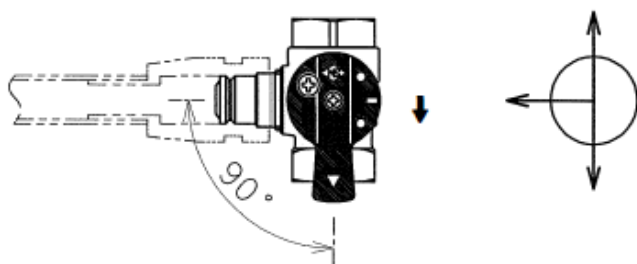
- 検査孔部は、JIS S 2135 で定める「ゴム管用プラグ」構造となっております。  
検査孔使用時にはキャップを外し、検査孔にゴム管用ソケットを取付けてください。
- ストップねじを緩めることにより、ハンドルが180度回転できます。

通常使用時におけるハンドル位置

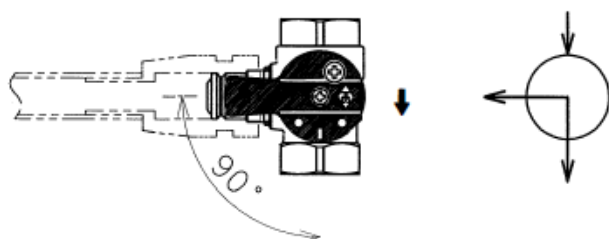


検査点検時のハンドル位置

①上流側・下流側同時検査(気密試験・漏えい試験・調整圧力試験・閉塞圧力試験・エアパージ)










②下流側検査(気密試験・漏えい試験)








⚠ ガス漏れの原因となりますので各試験を行うときに、検査孔内にゴミが入らないように注意してください。

## 2 安全のために




-  このガス栓はLPガス専用の検査孔付きねじガス栓です。LPガス以外に使用すると機能が損なわれる恐れがありますので、他の用途には使用しないでください。
-  検査孔は、検査以外の用途には使用しないでください。ガス漏れ事故の原因となります。
-  このガス栓は、工場で精密に組み立てられております。分解、改造をするとガス漏れなどによる事故発生の原因となりますので絶対にしないでください。
-  埋設用としては設計、製作されておられませんので、埋設設置はしないでください。
-  このガス栓は冠水する場所、湿度の高いところ、及び腐食性のガスの影響を受ける恐れのある場所には設置しないでください。
-  このガス栓は、燃焼器具の炎を直接受けるところ、輻射熱を受ける場所、及び衝撃を受けやすい場所への設置は避けてください。
-  このガス栓のハンドル位置は「全開」または「全閉」で使用してください。ハンドルの回転が固い場合、ハンマーなどでたたいて無理に回すと、ガス漏れの原因となりますので絶対にしないでください。

## 3 設置工事

-  ガス栓の設置、取付け工事はLPガス設備士自らが行ってください。
-  ガス栓の取り付けにおいては、本体の流れ方向の表示(→)にしたがって、間違いのない様に取り付けてください。
-  配管にガス栓を取り付ける際は、ガス洩れなどのトラブルを防止するため、ねじ部の切粉やゴミなどの異物を完全に除去してください。配管のねじ山には耐LPガス性のシーラントを塗布してください。ガス栓内へのシーラントのはみ出しを防止するため、ねじ先端の1山にはシーラントを塗布しないでください。
-  シールテープは、切れ端がガス栓内に侵入する恐れがありますので使用しないでください。
-  配管にガス栓をねじ込む際は、本体の配管に近い側の六角部に、スパナを正しくかけてねじ込んでください。過剰な締め付けは、破損、ガス洩れの原因となりますので、適切な力で締め込んでください。締め付けは、手締め後1.5回転のスパナ締めを標準とします。  
締め付けトルクは、次の表を目安としてください。

締め付ける力の目安(スパナ全長250mmのとき)

接続ねじサイズ	締め付けトルク	スパナに加える力
Rc1/2	34N・m(350kgf・cm)	137N(14kgf)
Rc3/4	44N・m(450kgf・cm)	176N(18kgf)

-  ガス栓の締め付けには、パイプレンチは絶対に使用しないでください。
-  ガス漏れの原因となりますので、ガス栓に無理な配管の曲げ応力が加わらないように正しく設置してください。
-  設置完了後は、気密検査などの法定検査を実施し、ガス栓のハンドルが正常に作動することを確認してください。

## 4 維持管理



キャップは必要時(検査時等)以外は取外さないでください。



検査孔使用後は、Oリングに損傷がないことを確認し、ゴミなどを除去した後キャップを根元までねじ込んでください。また、ガス栓を全開にした状態で、キャップ部より漏れないことを確認してください。



点検、調査時にはガス漏れのほか、ハンドルの操作性についても確認し、ハンドル回転の重いものは新品と交換してください。



ガス漏れ検知液を塗布した後は、錆などの発生を防止するため、良くふき取ってください。



接続されていないガス栓には必ず栓を施してください。



この製品が原因で事故となり損害が生じた場合、製造後10年以内の期間に限り、生産物賠償責任保険により補償いたします。

製造後10年以上経過したガス栓は、経年劣化により製造時の品質が維持できない場合がありますので、賠償責任保険の有効期間が過ぎた製品は、新品と交換してください。

## 5 お客様への説明

■取り扱い方法、特に検査口キャップに触れたり外したりしないよう、十分説明してください。

■保証及び保証書に関する必要事項を、お客様に説明してください。



株式会社 宮入バルブ製作所  
MIYAIRI VALVE MFG. CO., LTD.

本 社 〒104-0061 東京都中央区銀座西 1-2 (Tel) 03-3535-5575 (Fax) 03-3567-6834

甲 府 工 場 〒400-0206 山梨県南アルプス市六科 1588 (Tel) 055-285-0111 (Fax) 055-285-7175

札幌営業所 (Tel) 011-786-1110 (Fax) 011-786-1120 名古屋営業所 (Tel) 052-951-3860 (Fax) 052-951-3862

仙台営業所 (Tel) 022-295-4670 (Fax) 022-295-4671 大阪営業所 (Tel) 06-6541-8711 (Fax) 06-6541-8718

東京営業所 (Tel) 03-3535-5571 (Fax) 03-3567-6834 九州営業所 (Tel) 093-921-0981 (Fax) 093-921-0984